

「ふふふ、君のおち○ぽが大きすぎ♥」

（寧々さんが、お、俺のち○ぽハイブリしてる？）

超気持ち良い…中学の制服…夢…か？）

「ねえ、私のあっぱいでおち○ぽ挟まれて

先っちょ舐められて感じるの？可愛いなあ、もう♥」

（うあ、寧々さんエロすぎ…じゃ、言ってもいいの…か？）

「ね、寧々さん、俺の濃いち○ぽみるく飲んでくれー！」

「おねだり…ふふふ、いいよー」

そっ言って寧々さんは更に舌で俺のち○ぽをしゃぶる。

カリの裏側まで丁寧に暖かい舌がなぞって

それだけでイキそうになる。精液がどくどく出るのが止まらな

寧々さんがびちゃびちゃおぞと音を立てて、精液を吸い上げる。

（やは…寧々さんエロすぎて気持ち良すぎ、い、イキヤ…）

「ん…○○君のせええええ…すっごく濃くて二がい…

でも美味しい。全部舐めとってあ…け…るな♥」

寧々さんの舌先がち○ぽの鈴口をぐりぐりほじくられて責め立てられると

足ががくがくして立っていられなくなる。

気持ち良すぎて、逆に可められてる気分だ。

俺にマソヒズムの要素などないと思っていたが、

寧々さん相手だとどうやら違っらしい。

「ん…や…もうそんな出しちゃいや…」

何度目の射精のあとか、寧々さんが急に嫌がりだした。

「へえ、嫌なんだ？寧々さんがいっぱい中に出して♡って言ったんじゃよ？」

俺の言葉に反応して、寧々さんが頬を紅潮させた。

寧々さんのおま〇こは、既に俺ののち〇ぼみまくていっぱい。

「ぶりと音を立てて、おま〇こから溢れ出してくる。」

そのいやらしい光景が網膜に焼き付いて、

更に俺を興奮させた。

「そう、だけど、こんなの…したら…」

好煩、しつやうよ…」

「今更言い訳？ほらもっ」と股開いて、

エッチな寧々さんのおま〇こ俺に見せて？」

少々苛めすぎたか？と、苦笑する俺の目の前で

寧々さんが目尻に涙を少し浮かべて、

足をあすあすと開く。

「ん…〇〇君、これいい…？」

晒された寧々さんの可愛いト「口と、少し首をかしげず仕草に

ごくりと唾を飲みこむ。でもそれだけじゃ俺は満足できなくて、更に煽った。

「寧々さん素直で可愛い♡でも、それだけじゃどこに何をシテ欲しりかわからなりの」

その口で言えはいい。俺が欲しいと、俺だけが欲しいと。

少しためらったあと、ますます頬を朱に染めて寧々さんがおねだりする。

「ん…わ、私、のエッチな…おま〇こ…に君の、おち〇ぼ挿れて…」

セツ言って、寧々さんは恥らいつながらもおま〇こを指で開いてくれた。

今すぐち〇ぼをぶちこんでやりたくなる衝動を抑えて、俺はまだ言葉を続ける。

「挿れるだけいいの？」

「ん…おち〇ぼ、挿れて、気持ちよくなって…私の腰こいしはアゲアゲだよ」

〇〇君の濃いせええきが…欲しいの…」

待ちに待った言葉に、ようやく俺の自尊心が満たされて、口が弧を描く。

良く出来ました、と言って、寧々さんの唇を、俺の唇で塞いだ。



モクゴ

大人の絵本
寧々さんとエッチ
イラストページ
ゲストページ
おくづけ

- * 3
- * 7
- * 19
- * 20
- * 22





寧々さーん

ふー



もう立派な
頼れる男性だね

さすが♡

しかし、
今日は本当
にお客様来
ないね

外、雨
すごいも
んね

もう、やる事だいたい
終わっちゃったし：

うーん……

まあ、
こんな日もあるよね
お客様を待つしかないね

今は二人だけど
もうすぐ他の子も来るし、
そしたら休憩だし、もう少し頑張ろう



ええ！

おっ
♡♡♡

ね、ね、
寧々さん？

アッ

ちょっとだけなら
いいかなあと思って……



♡♡♡



アッ

でも、
ここはごらいて
言ってるしなあ

サササ
サササ

顔、赤くなってる
かわいい♪
今お客様来たら大変だよ

寧々さんが…あ…
そこまで…するなら…

急だったから
皮が可愛く
なってるよ

おんぎん
おんぎん

え？

ふふふ

ハハ

俺も
これくらい
いいよね？

きやあ！

♡
♡
♡

暇つぶしなら
二人で気持ちよくなったほうが
いいんじゃない？

ぐちよぐちよで
簡単に指入りそうじゃん

う、うそ…だ…よ！
いじわるしちやヤダ…！

ふ
ちやっ

くちやっ
くちやっ

寧々さんだって、
もうこっちはイイって言うてるよね

ちよっと！
それはやりすぎ！



おはようー
おはようー

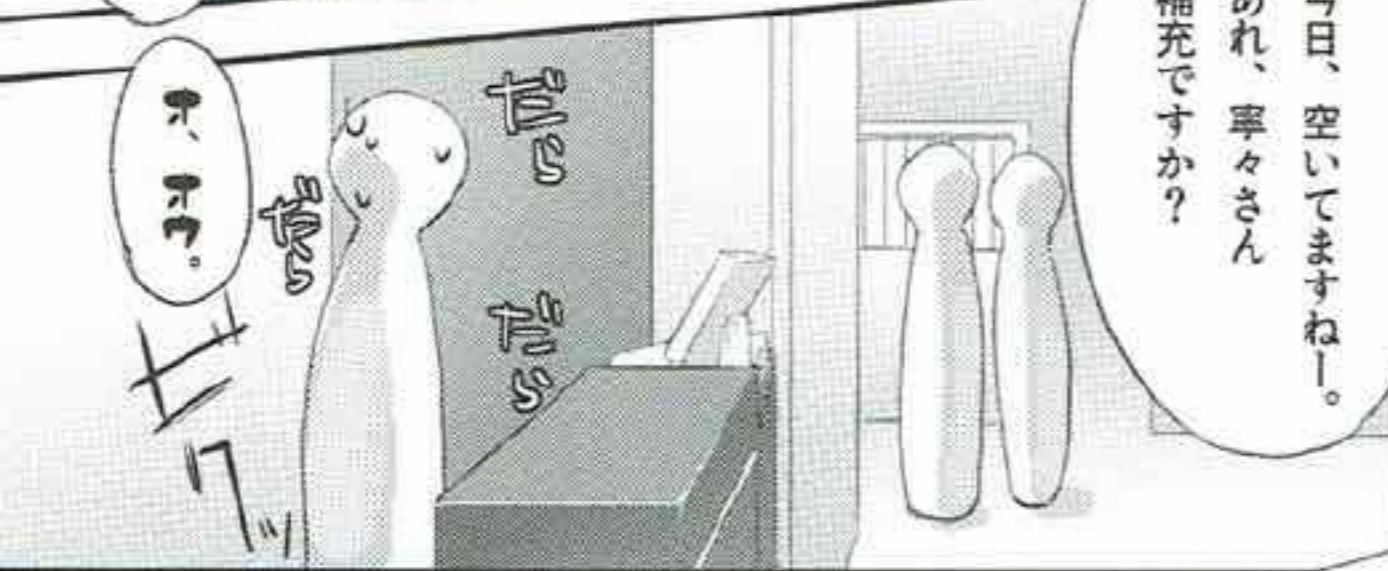
おはようーですー



ちやー

かっかっ

かっかっ



今日、空いてますねー。
あれ、率々さん
補充ですか？

あ、はい。



じゃあ、
着替えてきますねー

戻ったら
入れ替わりで
俺たち休憩入るわ



もう
行った？



あま
危なかったねー

感じてた率々さんの姿が
あまりにも可愛くて
ついついやりすぎちゃった



STAFF
ROOM

関係者以外

あんな
ちょっと…
もらっ♡

寧々さん
俺まだ…

さっきの続きが
したいんだけど

きっと誰も来ないし
それに、俺はまだ満足してない

やらしい汁が溢れてる…
さっきすごく感じてたから？

君がしたくせに
もう、仕方ないなあ

恥ずかしいから…
後ろからならいいよ

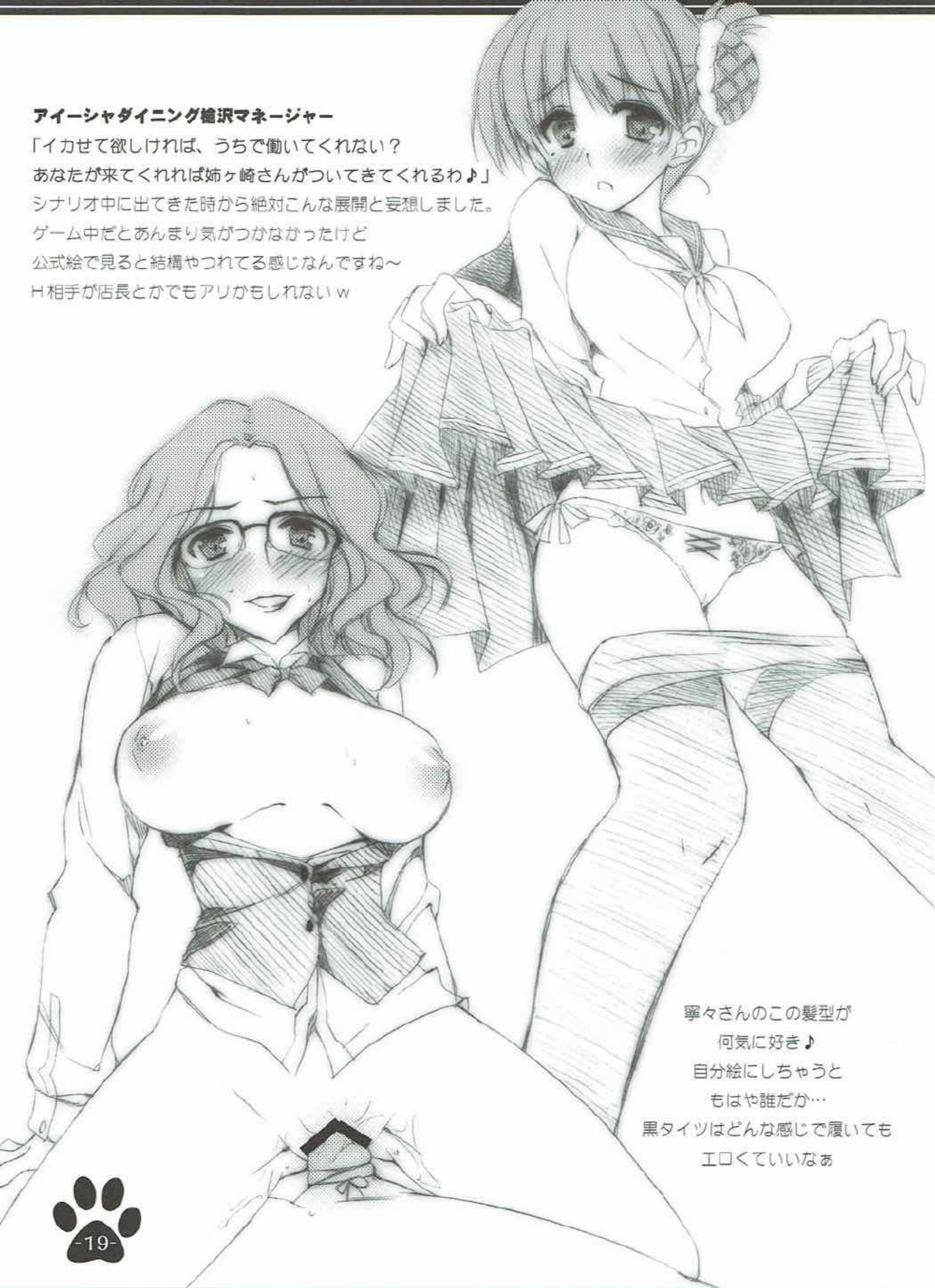
あーっ
あ、スゴイな！
おもしろいな！

おもしろい
おもしろい
おもしろい



アイシャダイニング槍沢マネージャー

「イカせて欲しいければ、うちで働いてくれない？
あなたが来てくれれば姉ヶ崎さんがついてきてくれるわ♪」
シナリオ中に出てきた時から絶対こんな展開と妄想しました。
ゲーム中だとあんまり気がつかなかったけど
公式絵で見ると結構やつれてる感じなんですわね～
H相手が店長とかでもアリかもしれないw



寧々さんのこの髪型が
何気に好き♪
自分絵にしちゃうと
もはや誰だか…
黒タイツはどんな感じで履いても
エロくていいなあ

ゲストに呼んでいただき
ありがとうございます～。
寧々さんかわいいよねw
中々Iロく挿けないのですが
今回はたいぶ頑張れたはずw

yume32ki





皐月みすず様へ

こんにちは天佑です。
らぶぷらすの癒しの天使 v
寧々さん本発行誠に
おめでとうございます♪
ゲストに御呼び頂きあり
がとうでした(´▽`*)



おくづけ

発行日 *2012年4月30日

サークル名 *サツキン家

発行者 *皐月みすず

メールアドレス

spirits_of_the_earth@comomo.so-net.jp

ホームページアドレス

<http://satukinchi.xxxxxxxx.jp/>

テキスト協力

ゆん様

ゲスト

天佑様

yume32ki様

ホームページアドレス

<http://yumeyumesakura.chu.jp/yuyu/home.html>

どうもありがとうございました！

印刷

(有)スズトウシャドウ様

スペシャルサンクス♪

この本を手にとってくれたあなた！

全ての無断転載、無断複製を禁止します。



2012
spring

misuzu satsuki

<http://satukinchi.xxxxxxxx.jp/>

